




花 7月～9月	ツリフネソウ科	
キツネフネ		
<p>ツリフネソウに似た黄花をつける</p> <p>本州～九州の山の木陰や、湿り気のある場所に自生する。「黄釣舟」の名前とおり、ツリフネソウによく似た形をした黄色い花を咲かせる。</p> <p>草丈は40～80cmで、茎に毛はない。葉は長さ4～8cmで、卵形または長楕円形をして互生する。花序は葉腋から垂れ下がり、そこに3～5つの黄花をつける。筒状の花は次第に細長くなり、距は下に向かって曲がる。</p>		
花 8月	バラ科	
キンミズヒキ		
<p>穂のように咲く黄色い花</p> <p>北海道～九州の低地、山地の林の中や原野などで見られる。</p> <p>草丈は30～80cmで、直立する茎には、長い軟毛が生える。葉は羽状複葉で、5～9枚の大小不揃いの小葉をつける。小葉の縁には大きい粗い鋸歯がある。裏面の脈上には毛が生え、白(または黄色)の腺点がある。葉柄の基部の托葉は大きい。</p> <p>夏から秋にかけて、細長い花穂に黄色の花を多数つける。</p>		
花 8月～10月	キク科	
ヒヨドリバナ		
<p>山地の草原や道沿いで見られ、草丈1～2m。葉は対生し、両面に縮れた短い毛を散生する。また、裏面には腺点がある。頭花は通常白いが、紫がかかった淡桃色のこともある。よく似るフジバカマは通常葉は3深裂し、表面にやや光沢があり、裏面に腺点がないなどで見分けられる。</p>		